

平成22年度事業報告書

事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館した。

昭和天皇が崩御されて20余年を経過し平成の御代が進行するなか昭和天皇記念館の入館者は毎年減少傾向にあるが、ご事績を後世に永く伝えるためには、地道に昭和天皇記念館のさらなる周知に努めることが、一層重要になってきている。

なお、公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成22年11月10日内閣府に公益認定申請を行い、同23年3月23日内閣府から公益認定を受け、同年4月1日、旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行った。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業費 36,841千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、平成22年度においては、平常展示『昭和天皇87年のご生涯』及び『昭和天皇の生物学ご研究』のほか、国産初の御料車「ニッサン プリンス ロイヤル」を通年展示した。さらに5月18日から9月5日までは写真展「皇居の四季」を企画し、9月からは2ヶ月毎に平常展示の一部展示替えを行った。

平成22年度の入館者数は、対前年度4%減の22,453名(うち有料入館者は20,386名)であり、平成17年11月27日の開館以降の累計入館者数は、183,910名であった。

【記念館管理運営事業収入 7,556千円】

【書籍頒布事業収入 873千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 2,492千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学術者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)およびそれに関する生物学の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、平成21年度までに67件の助成を行ってきた。

平成22年度は、引き続き動・植物における系統分類学の研究を対象として公募し、応募件数57件(動物関係41件、植物関係16件)の中から審査の結果、次の3氏が助成対象候補として選ばれた。平成23年3月17日開催の理事会で承認され、事務局から学術助成金交付証が送付された。

只野 亮 広島大学 大学院生物圏科学研究科 博士研究員

【日本鶏の系統分類に関する研究】

足立奈津子 北京大学 地球与空間科学学院 博士研究員

【古杯類の分類学的研究に基づく、カンブリア紀前期礁生態系の復元】

池田 啓 東京大学 大学院理学系研究科 特任助教

【東北地方固有高山植物ヒナザクラ(サクラソウ科)の系統地理学的研究】

(3) 青少年の健全育成及び自然環境保全のための社会教育活動

並びにこれらの活動への助成 5千円

フィリピンでの森づくり活動を通して、地球規模で「緑」を考えるとともに、多くの体験をすることにより、国際社会に対応した青少年の健全育成を目的とし、平成7年度(第1回)から、全国の高校生を中心に「フィリピン『森づくり』ボランティア体験学習」団を募り、組織を編成、(公財)オイスカの協力を得て、フィリピンにおいて勉強会、植林地の視察、下草刈り、育苗等の作業、国際理解のための交流会等を行い、平成20年度(第13回)までに363名の参加を得た。

しかしながら、新型インフルエンザ流行のため前年度は実施を見送り、その後再開に向け検討を重ねたが、諸般の事情により残念ながら再開は困難であるとの結論に達した。

(4) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 32,589千円

ご事績に関する事業 254千円

昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるため、平成22年4月29日、国営昭和記念公園内において講演とビデオ上映会を行った。日本テレビ「皇室日記」の前キャスター久能靖氏による講演(昭和天皇の

思い出と平成の皇室)と「皇居をたずねて」他のビデオ上映を行った。

御陵参拝は、昭和天皇のご命日にあたる1月7日実施、さらに昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕を行った。

機関紙「昭和」発行业業 25,416千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、機関紙「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。機関紙「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容の説明記事等も掲載している。

平成22年度においても、引き続き機関紙「昭和」(月刊、各50,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

【日本宝くじ協会助成金収入 20,000千円】

【協賛金収入 540千円】

昭和天皇御製カレンダー製作事業 6,919千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

平成22年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、平成23年版「昭和天皇御製カレンダー」(11,000部)を製作、贈呈頒布した。

【御製カレンダー頒布収入 6,615千円】

事業費合計 71,927千円

助成金等収入 - 35,584千円

36,343千円

2. 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 5,800千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

【記念館MS収入 7,078千円】

事業費合計 5,800千円

記念館MS収入 - 7,078千円

- 1,278千円

・主要な人事

平成22年

6月24日	小串 和夫氏	理事就任
	四ツ倉偉隆氏	評議員就任
	鈴木 啓之氏	理事退任
	田中 恆清氏	理事退任
	原野 和夫氏	理事退任
	鎌田 迪貞氏	評議員退任
	川俣 貞氏	評議員退任
	新庄 鷹義氏	評議員退任
	高城 治延氏	評議員退任
	田久昌次郎氏	評議員退任
	三上 勇治氏	評議員退任
	山名 昇氏	評議員退任
7月 1日	高城 治延氏	顧問就任
	田中 恆清氏	顧問就任
	竹中 登一氏	顧問退任
	矢田部正巳氏	顧問退任
12月22日	田中 雄作氏	評議員逝去

・主要な会議

1. 理事会の開催

日時	平成22年6月17日(木) 12:30~14:00
場所	憲政記念館
出席者	理事13名(委任状出席者含む)
議事	1. 平成21年度事業報告書案の件 2. 平成21年度財務諸表及び収支計算書案の件 3. 公益認定の申請の件 (1) 最初の評議員選任の報告について (2) 最初の代表理事、業務執行理事の選定について (3) 定款変更案について (4) 公益財団法人としての諸規程等案について (5) 移行認定の申請について 4. 評議員選出の件 5. 会長、副会長、理事長及び専務理事互選の件

6. その他

- (1) 顧問の委嘱について
- (2) 昭和天皇記念館の状況について

日 時	平成23年3月17日(木) 12:40 ~ 13:40
場 所	砂防会館
出席者	理事11名(委任状出席者含む)
議 事	1. 平成22年度学研究に対する助成事業承認の件 2. 平成23年度事業計画案の件 3. 平成23年度収支予算案の件 4. 公益認定の申請の件 (1) 公益認定の現況について (2) 公益認定後の会員に関する規程について (3) 公益認定後の事務局長承認について 5. その他 昭和天皇記念館の状況について

2. 評議員会の開催

日 時	平成22年6月17日(木) 10:30 ~ 12:00
場 所	憲政記念館
出席者	評議員17名(委任状出席者含む)
議 事	1. 平成21年度事業報告書案の件 2. 平成21年度財務諸表及び収支計算書案の件 3. 公益認定の申請の件 (1) 最初の評議員選任の報告について (2) 最初の代表理事、業務執行理事の選定について (3) 定款変更案について (4) 公益財団法人としての諸規程等案について (5) 移行認定の申請について 4. 理事及び監事選任の件 5. その他 (1) 顧問の委嘱について (2) 昭和天皇記念館の状況について
日 時	平成23年3月17日(木) 11:00 ~ 12:00
場 所	砂防会館
出席者	評議員11名(委任状出席者含む)
議 事	1. 平成22年度学研究に対する助成事業承認の件 2. 平成23年度事業計画案の件 3. 平成23年度収支予算案の件

4. 公益認定の申請の件
 - (1) 公益認定の現況について
 - (2) 公益認定後の会員に関する規程について
5. その他

昭和天皇記念館の状況について

・会員の状況

平成23年3月31日現在会員数		
維持会員	個人年会員	1,524人
	法人年会員	64社
	個人終身会員	3,713人
	法人永久会員	28社
賛助会員		53件
	計	5,382

《 附属明細書 》

平成22年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。